

工陵

小山高専だより



第24回高専シンポジウム in Oyama



学生表彰



校長と在校生との懇談会



ジョブセミナー

Vol.6

2019.3

目次

表紙	1
学校長挨拶	
金次郎に学ぶ	2
主事・専攻科長挨拶	
MCC（モデルコアカリキュラム）	3
夢に向かって着実な一歩を	3
1年間の振り返り	3
足りないものは何もない、しかし・・・	3
卒業生・修了生に贈る言葉	4～11
学生表彰者一覧	11～15
平成30年度卒業生・修了生就職・進学先一覧	16
後援会だより	17
部活動報告	17
全国高等専門学校デザインコンペティション	18
第33回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会	18
学生会ニュース	19
学寮ニュース	19
平成30年度第38回全国高校生読書体験記コンクール	20
平成31年度諸経費について	20
編集後記	20

独立行政法人国立高等専門学校機構



小山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Oyama College

小山高専HP→本校を知りたい方へ→工陵-小山高専だより
<http://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.185
※従来の小山高専Quarterlyから工陵-小山高専だよりに変更しました。



金次郎に学ぶ

校長 大久保 恵

昨年、学校訪問で小山市立小山中学校の飯嶋治校長にお会いする機会があった。歴史に詳しい先生から懇談の中で二宮金次郎（尊徳）が栃木県を舞台に活躍し日光市で没していることをご紹介いただいた。私の出身地の青森県では久しくお目にかかることがなかった薪を背負い読書する金次郎の像が今も栃木県内の小中学校には大切に残されているのが気になっていたこともあり、小田原の少年期のことしか覚えていなかった自分の浅学を恥じつつもいくつかの書籍を読みあさり、墓地のある今市を訪ね、あらためて金次郎の偉大さを学ぶこととなった。

江戸後期に小田原の裕福な篤農家に生まれた金次郎であったが、度重なる洪水で田畑も家財も失い、ほどなく両親を亡くし、16歳の若さにして困窮状態に陥った。伯父宅に身を寄せながら薪を集め草履づくりでお金を蓄え勉学を欠かさなかった不屈の努力家として紹介されてきた。金次郎＝負薪読書の石像＝勤勉と親孝行のお手本というイメージが強く、私もその一人であったが、調べてみると彼の全体像がやや歪められてきた面があり、正しく評価する動きも近年進んでいるようだ。

金次郎は伯父の世話になりながら4年で自家再興を成し遂げると藩の家老であった服部家の家政の立て直しを依頼され、それを見事に果たして一躍彼の名が広まる。36歳で下野藩桜町（現在の真岡市）の復興を命じられ、窮乏状態の桜町を9年の歳月をかけて再建した。その間には保守的な人々から強い抵抗を受けて苦難の連続であったとされる。生涯で下館、烏山、日光などの600以上の村々を復興させ、甦らせたと言われている。

成功の秘訣は「報徳仕法」と呼ばれる金次郎の独特のやり方であった。一つは彼が大切にしていた「勤労」、二つ目は「分度」といって身の丈にあった生活レベルを設定すること、三つ目は「推譲」、これは若干難しい言葉だが、勤労と分度で利益が出たら一部は将来の備えに回し、一部は他者のために寄附する行為にあたる。勤労と分度でV字回復をさせ、推譲で自他を豊かにするものだ。常に原因を正しく分析し、最適な処方箋を考え、「積小為大」という精神で決して急がず着実に実行し続ける。その過程にはいっさいの私利私欲もないからみんなから愛された。職業は農政家、経世家などと表現されるが分かりにくい。理論よりも実践して結果を出すことを重視する金次郎は、酒匂川の治水を行った土木技術者であり、藩の経済を立て直す手腕は行政マン、現在の信用組合のような仕組みを編み出したところは優れたビジネスマンでもあり、農業が中心の社会を改革した偉大なソーシャルドクターでもあった。このようにマルチな才能を発揮したが、社会をこよなく愛したヒューマニストにも思えてならない。

現在の日本社会は、金次郎が生きた江戸後期に比べはるかに進んでいるものの経済の後退、災害の頻発、人口減少、海外の影響など類似点が多く見られる。栃木県は気候風土や交通の便に恵まれ、経済的にも豊かな環境にある。だが、次第に社会全体が厳しく難しい方向に変わっている時、現状に埋没し待ちの姿勢のままでいいだろうか。「〇〇は□□で△△だ」と分析や評価をよく耳にするのが、積極的な動きにならない。そんな風潮に自分の知恵と行動で変革した金次郎の生き方は今でも新鮮であり、学ぶべきことが多いのではないだろうか。希望は、若い皆さんである。薪を背負いながらの読書像を真似て、黒バッグを背に歩きスマホは危なくお勧めできないが、負薪読書像の歩くポーズから一歩前に出る姿勢、実践の哲学を是非学んでいただきたいと思う。いつも「一歩前に」の気持ちを持っていれば、考え行動する人間に育っていくに違いない。

折良く本年5月より映画「二宮金次郎」（五十嵐匠監督）が公開されるので、是非新しい金次郎をご覧ください。

MCC (モデルコアカリキュラム)



副校長(教務主事)
石原 学

MCC (モデルコアカリキュラム)とは、全国の国立高専が、要請する人材の備えるべき能力や到達度について、最低限の能力基準 (ミニマムスタンダード) を確保しつつ、各高専が目指す人材像に沿って特色ある独自の教育を実践するための基本的なガイドラインとなるものとされています。小山高専も、このMCCに沿ったカリキュラムに改正し全国高専と同じ歩調をとっています。このことは、小山高専を卒業すると全国のどの国立高専とも同等な能力が保証されることを意味しています。ただし、保証されるのは最低限の能力基準です。最低限こまでは出来ること、理解できることの指針となります。

さらに、各高専の特色である $+a$ を付加することを求めています。この $+a$ を修得することで小山高専の卒業生となることを示しています。他高専では経験していない小山高専オリジナルを座学・実験実習から身につけて卒業できれば最良と考えています。それは、いろいろなスキルに対応できるようにしていきたいと考えています。

小山高専で自分自身の能力を向上させる取り組みを考え、自らを律して $+a$ を修得する方法を考えて下さい。

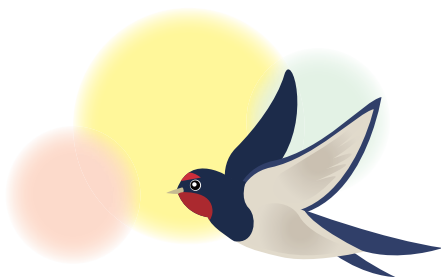
夢に向かって着実な一歩を



校長補佐(学生主事)
飯島 道弘

卒業および修了おめでとうございます。高専生活を振り返り、自身の成長を感じることはできますか？学校生活における成長は、自覚しにくいものですが、きっと自信を持って大丈夫です。皆さんは、基礎知識や経験に加え、多様なことに対応する方法を習得し着実に成長していることと思います。

社会人として、最初に「やりたいこと」と「やるべきこと」が異なることを実感し、困惑すると思います。「やりたいこと」だけを主張する人に仕事を任せすることはできず、「やるべきこと」を期限内に着実に実施できる人が仕事を獲得していきます。しかし、指示された「やるべきこと」だけにこだわる人も、評価は低くなります。自分が望んでいない「やるべきこと」に対し、前向きに工夫して挑むときこそ、自己の意識改善や未知なる能力に気付く良い機会だと思います。いつでも謙虚な気持ちで、複数の「やるべきこと」を実施しながら経験を積み、地道に信頼を得ていくことが、「やりたいこと」を将来的に実現できる近道になるかもしれません。



1年間の振り返り



校長補佐(寮務主事)
鈴木 真ノ介

今年もあっという間に1年が過ぎ去ってしまいました。皆さんにとってこの1年はどのような年だったでしょうか。すべてが思うようになったという人も中にはいるかも知れませんが、私を含め大半の人がうまく行かないことや納得出来ないことがいくつか、或いは多々あったのではないかと思います。でも、人生というものはそういうものです。それに挫けていては前に進むことはできません。

私は研究室に所属する学生が卒業するときいくつかの言葉を送るのですが、その中に、「すべてのことには意味がある。無駄に思えることも、自ら理由づけして取り組み、無駄にするな。」というものがあります。長い人生、すべてがうまく行くわけではありませんし、失敗から新たな発見が見つかることもあります。無駄や失敗と思われることを次に繋げるかどうかは自分自身です。自分自身への戒めも込めて、この言葉を毎年卒業する卒研生に送っています。

昨今、失敗を恐れる若者が増えていると聞き及びます。そうした社会構造を作り出してしまった大人の一人として責任を感じていますが、私なりの打開策として、前述の言葉を皆さんに送ります。

最後に、先日本校で開催された高専シンポジウムにおいて、高専機構本部の谷口理事長が、このようなお話をされていました。「失敗は成功の基、成功は失敗の基」。驕る平家は久しからずとはよく言ったもので、現代社会の企業は一つの成功では生き残れないということからもその様子が伺えます。うまく行った人も明るい未来に繋がるように是非、日々精進・用心を重ねて下さい。

足りないものは何も無い、しかし・・・。



校長補佐(専攻科長)
伊澤 悟

人には無駄や足りないものは何も無いそうです。失敗したことや、時間を浪費したことなどのすべてはその人の経験となります。また、足が長い、短いは比較の上で成り立ちますが、特性や能力は人によって様々で、それぞれにとっての100%です。今持っている能力は過去のもので、現在の100%です。能力が足りないと憂いだり、他人を羨むことよりも、自分を磨くことに専念して下さい。

そして、私はその言葉には更に次の言葉が続くと思っています。経験より得られた知見を分析し次に起こす行動を変えることで、将来に向かって特性や能力が人によって変わって行くということです。今後、大人になればなるほど、人間の能力には多様性があることが分かるでしょう。自分はどんな人間か、どのような人間になりたいのか、分析し判断して下さい。非力な選手がホームランバッターになることは難しいかもしれませんが、バントの名手や守備の選手になることは可能かもしれません。多様性の力は、将来、組織や社会で必要とされることでしょう。そのためには、あなた自身が多様性を受け入れることが大切で、多様性の能力を生かしたチームを作ることが重要です。



機会工学科

継続は力なり

機械工学科5年担任 鈴木 栄二

機械工学科5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高専生活を無事に終え、これからは社会人または大学生として羽ばたいていくことでしょう。環境は大きく変わりますが、学ぶという姿勢は同じではないでしょうか。日々の仕事や学業の中で、失敗することもあり目標を達成したりとさまざまな状況があると思います。その中から、何かを継続して学ぶことができれば、それが成長へとつながります。

私は、卒業する皆さんに「継続は力なり」という言葉をいつも贈っています。「天才とは努力する凡才のことである」というアインシュタインの有名な言葉があります。ノーベル賞受賞者でさえ、IQが極めて高い天才的な人ばかりではないという話をよく聞きます。重要なことは、目標達成のための「継続する力」だと思います。継続することは経験が蓄積されることであり、この経験こそが何事にもかえられない「力」となります。

卒業とは、次の段階に進むことです。困難があっても簡単にはあきらめず継続して力を蓄え、自分も周りも幸せにできる大人になってください。そして、皆さんが次世代を担う技術者または研究者に育つことを期待しています。

研究テーマ一覧

柏崎 志武	磁場環境下におけるフレッチング摩耗の観察
小池 航	独楽を用いたトライボロジー教材の製作
柳原 陸	往復摩擦摩耗試験における磁場効果の検証
伊藤 雄平	ストークス近似を用いた低Re数自由噴流の理論解析
久保 清人	急拡大管における極低レイノルズ数流れの解析
細井 陸	尾翼を追加した地面効果翼機の開発
大森 良和	ジェットホバーMTの運動特性
荒川 直輝	V-A型小型ACVの設計と基本性能試験
高谷 哲平	多脚杖の力学特性に関する研究
青木 奏弥	低圧ポンプを用いたファインバブル発生装置の研究
沖 拓充	回転式ファインバブル発生装置の改良
田崎 陽登	プラズマクチュエータを用いた粒子分離に関する研究
佐藤 稜	連続式遠心分離機の性能評価に関する研究
寺内 新	各種銅合金を用いた高音質ハンドベルに関する研究
長沢 崇滉	円錐型ハンドベルの研究
西園 史唯	材料のヤング率測定法の検討
折原 慶喜	SEM観察用材料試験片の検討
福地 理子	子ども向け図書館案内ロボットの小型化と新機能の開発
小丸 琢馬	熱電変換素子における温度分布と発電特性に関する検証-FEMによる解析-
加藤 迅平	ウェッジハンプの励振を受ける車輛モデルのカオス振動
懸川 滉大	単自由度防振座席モデルの動特性
佐々木一真	連続 Wavelet 変換に基づくカオス振動の識別
館野 瑞輝	宇宙推進機の点火に与える熱的影響の評価
加藤 滉基	宇宙推進機の推力測定装置の性能向上
栗原 世羽	宇宙推進機の固体触媒劣化による反応性への影響評価
赤石 美鈴	飛行機の地上走行自動化に向けた基礎研究
野崎 仁宏	倒立振子を用いたヒトの性格検査
小菅 奨悟	ヒトの動作を検査項目とする性格検査法の開発 (ヒトの性格特性が現れる動作の選定)
後藤 遼一	ホースのねじれ修正機の開発
篠崎 将己	材料試験によるCFRTPの損傷と機械的特性評価
手塚 大雅	赤外線サーモグラフィを利用した壁面欠陥検出技術開発
ジョセリン	歩行に伴う足アーチ変形の定量的評価
ルビン	実用化に向けた有機無機ハイブリッド薄膜太陽電池の高機能化
石原島弘明	有機無機ハイブリッド熱電変換素子の高機能化に関する研究
東 昇馬	有機無機ハイブリッド薄膜太陽電池の高効率化に関する研究
飯山 千尋	差動型測距センサーシステムを用いた水深測定
熊田 純久	3軸加速度センサの測定雰囲気におけるばらつきについて
仲田 陸人	BiFeO ₃ 薄膜を用いた新しい圧電センサに関する研究



電気電子創造工学科

卒業生の皆さんへ

電気電子創造工学科 (L) 5年担任 笠原 雅人

卒業おめでとうございます。この5年間の小山高専での生活のうち、最後の2年間ほど担任をさせていただきました。ほとんど何もしていないので、お世話になった覚えのある学生はとても少ないと思います。授業および成長において軽い支えとなっていたなら幸いです。ほとんどを君たち自身にお任せしましたから、担任としてもっとかかわって欲しかった学生もいるかもしれませんし、全く頼りにならなかったと感じたことでしょうか。自分の力で卒業したのですから、そのことを自信として頑張ってみてください。

小山高専の5年間で多くの事柄を学んだと思いますが、授業で学んだことはほとんどが使えないかもしれません。現在の流行に対して逆行する授業もあったと思います。そのため学んだことが直接使えないと考えるかも知れませんが、物事の見方・考え方を学んでいるならば、時代が大きく変わっても広く理解できると思えます。

社会に出るとつらいときもあるでしょうから、そんなときは、学校に来るのも一つかもしれません。大したお世話は出来ないと思いますが、話ぐらいは聞けると思います。皆さんのご活躍を願っています。

自信を持って、一步一步を確実に

電気電子創造工学科 (R) 5年担任 山田 靖幸

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年間の高専生活、本当にお疲れさまでした。入学時から高校生とは違う「学生」として自律を求められ、自分の力で何とかしなくてははいけない、というのは大変なことでもあったでしょう。しかし、今まで学んだことのすべてはこれからも役に立つことばかりであり、高専生活の5年間、そして、大学受験・就職試験や卒業研究という大きな壁を乗り越えたことは、皆さんの大きな自信になるでしょう。これからは、これまで以上に自律していかなければなりません。皆さんの頑張り次第でいくらでも未来を切り拓くことができます。夢を叶えるための努力を惜しまないでください。

時には、苦しいこと、辛いことが目の前に立ちふさがるかもしれません。焦りを感じることもあるでしょう。でも、そんな時こそ、ゆっくりとでもいいから確実に進むことを何よりも大切にしてください。人と比べなくても大丈夫です。皆さんは皆それぞれ素敵などころを持った素晴らしい人たちです。それぞれのペースで確実に前進しましょう。そして、皆さんなら何があってもきっと乗り越えていけるでしょう。

皆さんのこれからのご活躍を期待しています。くれぐれも身体に気をつけて頑張ってください。



研究テーマ一覧

αコース

- 青木 礼 ARToolkitを用いた環境案内支援システムの試作
 川原井カノン 二重振り子のシミュレーションによるカオス振動分析
 高橋 伶央 パラメトリックスピーカー用いた位相差によるオーディオスポット変化の観測
 西原 睦喜 有限ポテンシャルに対する粒子の波動性に関する研究
 土井 公貴 Qスイッチ型マイクロチップレーザー出力と質に及ぼす母材と活性イオンの関係ー
 前田 夏輝 2ビーム方式フィゾー干渉法ー表面凹凸の検出精度とシステム実現性の検討ー
 小林 征哉 自然渋滞モデルを活用した Autonomous FCEV の評価
 伊澤 優太 非破壊診断手法確立のための燃料電池の性能評価
 篠崎 俊希 運転中診断に向けた分極評価手法の検討
 高橋勝之心 システム性能向上のための固体高分子形燃料電池の内部シミュレーション
 三浦 俊 3E教育のための電力購入体験ツールの開発
 吉川 敢大 柔軟性を考慮した電力3E学習ツールの開発
 金井 翔大 GNURadioを用いた超音波通信の検討
 佐藤 太一 既存教科書とデジタルコンテンツによるA-txtの機能改善
 齋藤 翼 磁界共鳴型無線給電におけるコイル形状と伝送効率の関係性の再検証
 福林明日香 ソフト外殻を搭載した四足歩行ロボットの開発
 エンヘー 印刷法による既存太陽電池の高出力化蛍光シートの試作
 成田 光樹 E.L.素子の印刷法による作製に向けた基礎的検討
 荒川 永夢 遠隔操作式廃炉作業ロボットの開発
 青柳 旭彦 廃炉作業ロボット用遠隔操作システムの開発
 大浦 友暉 アルキメデススクリューを用いた水中移動装置の開発
 大橋 秀嘉 湖沼調査用小型水中ロボットの開発ーパラスタック式浮沈装置の試作ー
 土橋 慶大 屋上脱気システムの性能評価
 大塚裕香理 スモールビークルのシステム構築とエネルギー評価
 坂村 俊亮 水冷式太陽光発電システムの冷却効果の評価
 鷲見 颯汰 太陽光発電の部分影の影響とシャドウキラー回路効果
 橋本 白

γコース

- 小林 壮太 ネットワークトラフィックの監視システムの試作ー(openflow導入による特徴量の分析)ー
 田崎 洋介 膜振動を導入した太鼓モデルの力覚特性の評価
 仁平蒼太郎 削る動作のモデル化と力覚特性のネットワーク伝送特性
 津布久 周吾 JuliusとRaspberry Piを使った音声認識システムと環境雑音特性
 津田 路子 ネットワークで利用できる聴覚障がい者用補助システムの開発
 和知 奎輔 不登校生徒のための学校シミュレータの提案II～VR空間における移動ベクトルと視線ベクトルの分離～
 岩永涼太郎 不登校生徒のための学校シミュレータの提案III～校内データの作成と室内データの最適化の検討～
 田島 新 ARを応用した構内案内システムの開発～Recurrent Neural Networkによる位置情報学習の検討～
 田村 峻 広域センサネットワークを用いたトラッキングサービスにおけるサービスに不要なプライバシーデータ流出比の定量評価
 並木 涼 クロックフィンガープリントによる時刻ドリフトを用いた機器識別手法
 高山 美玖 センサネットワーク連携によるキャンパス情報エネルギー見える化システムの開発
 長澤 廉師 血管分離を目的とした独立成分分析処理の改善
 吉川 健太 YOLOを用いた手書きノート画像の特徴抽出に関する研究
 関口 千聖 集団行動解析を目的とした屋内位置推定手法に関する研究
 麦倉 柊太 凸多面体近似による肝臓部分切除領域推定の探索効率化に関する研究
 高久 智哉 グランド形状の設計による広帯域アンテナの小型化に関する一検討
 小島 大智 積層チップインダクタの部品配置による電磁干渉に関する一検討～高周波技術者用の教材開発を想定して～
 布施 晴輝 技術者教育用教材開発を想定した高周波増幅器の検討
 渡邊 拓磨 ダイプレクサの整合回路設計による複数減衰極の制御

βコース

- 串田 雄哉 畳み込みニューラルネットワークを用いた環境音識別における精度の向上
 神原 達也 可搬型リアルタイム不規則音源3次元位置推定システムの開発
 倉井 駿也 スペクトログラムの非負値行列因子分解による音源分離性能の評価
 岡村 祐希 arduinoによるMPPT制御機能付太陽光発電システムの大電力化に関する研究
 平松 航 回路シミュレータによる風力発電模擬システムの実現
 藤生 淳 独立型太陽光発電システムのフィードバック制御による脈動電流補償効果の実験的検証
 大野翔太郎 分光測色計を用いた古書の年代推定
 松野 将馬 楽曲の年代推定プログラムの開発
 青柳 泰我 倒立2輪ロボットのパラメータ同定と安定化制御
 森 壮流 倒立振子の安定化制御に用いるカルマンフィルタの検討
 根田 拓海 2台連結系液面タンクのシステム同定
 片山 滋基 極配置問題による液面タンクの制御
 相澤 勇斗 有限要素法による2次元非圧縮粘性流体の解析
 椿 規良 NDTを用いた大域的自己位置推定による自己位置消失からの高速復帰
 齋藤 昂生 単一画像の効率的な変換による特徴物分類器作成法の提案
 藤倉 駆 四分木空間分割による移動障害物検出に基づく中間ゴール設定法の提案
 松本 貴志 自律移動ロボットにおけるRTK-GPSの誤差変動を考慮したオドメトリとのセンサ融合法の提案



[Lクラス]



[Rクラス]



物質工学科

「会話」することの大切さ

物質工学科5年担任 高屋 朋彰

皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年間の高専生活はいかがだったでしょうか。きっと、あつという間だったという人がほとんどでしょう。でも、安心してください。皆さんには、これまで培った知識だけでなく、わからないことをどう調べ、考え、解決していくか、がしっかりと身についています。

3年生のとき、「教員である前に人間であり、人間として皆さんと向き合いたいのので、相互理解のために話をしましょう」と述べました。そんな私が、これから輝かしい活躍の場へ飛び立たれる皆さんに伝えたいことは、やはり「「会話」することを大切にしてほしい」ということです。「文字」と「言葉」と「会話」、どれも情報を伝えるためのツールですが、伝わり方は「1:10:100」くらい差があります。「会って話す（会話）」ことは、「文字」や「言葉」では伝えることのできない情報（感情、表情、空気感、等々）をリアルタイムで相互共有できる唯一のツールです。新天地では、これまで以上に様々な人の価値観と触れあうこととなります。ぜひ、日々の小さな「会話」の積み重ねからお互いの「信用」が生まれ、「信用」の上に「信頼」が築かれることを心の片隅に留めて、実践してほしいと思います。

最後になりますが、初めての担任を3年間、本当に楽しんで過ごすことができました。ありがとうございました。もし何か伝えたいことがあれば、いつでも連絡をください。皆さんの希望に満ちた未来とご活躍を願っています。

研究テーマ一覧

秋山 真太郎	ハイドロキシアパタイトの透明薄膜コーティング
新井 小百合	臭化ヘキサデシルトリメチルアンモニウムとアニオン性有機塩の相互作用がGibbs膜に及ぼす影響
岩崎 琉亜	チーズ熟成を促進する乳酸菌のスクリーニングと特性評価
小田 拳慎	超臨界二酸化炭素を溶媒としたグルコースの脱水縮合による重合反応の検討
小田部 剛	亜鉛含有HApプラズマ溶射被覆材の性能に対する陽極酸化法で作製した中間膜の影響
大掛 航	異なる作製条件下で得られた亜鉛含有ハイドロキシアパタイトプラズマ溶射被覆材の密着性評価
大瀬 なつみ	ポリアミノ酸含有ポリマーによる医療用表面機能化材料の開発
大竹 銀河	新規架橋型シクロペンタジエンルアミドチタン錯体の合成とアルケン重合触媒作用
大橋 勝太	農産品由来の乳酸菌が生産する菌体外多糖（EPS）の分離と特性評価
菊池 将史	植物由来リモノンをを用いた新しい多成分系ポリマーの合成
岸 祐太	水素移動型イリジウム錯体を用いたメソ-ジオールの高選択的モノカルボニル化
木下 葵子	乳酸菌が産生するバクテリオシンの精製・特性評価
金原 風雅	異なる熟サイクル条件下での溶融硫酸塩薄膜下における金属材料の耐食性に関する検討
小池 優介	チタン基亜鉛含有ハイドロキシアパタイトコーティングの耐久性評価
小林 智浩	ノルエフドリン誘導体を用いた不斉アルドール反応によるメソ-ジアルデヒドの高立体選択的炭素鎖延長反応
小山 瑞	銅触媒を用いたヒドロキシメタクリレート系モノマーの高活性精密重合に関する研究
高谷 大紀	熟サイクル条件下溶融硫酸塩薄膜下におけるAl拡散処理コーティングの耐食性評価
佐々木 美波	天然物質リモノンとPEGを有する新しい多成分系ポリマーの合成
財津 奏太	ベンケルを反応場としたLaccase/O ₂ による酸化反応に着目したチロシン重合体の合成
齋藤 香澄	柑橘由来成分によるiPS細胞の増殖・分化への影響
笹嶋 直輝	新規ストロンチウムマンガン複合酸化物の合成と電気的性質
須永 祥斗	コーヒー豆滓の示す六価クロムの吸着様式に関する検討
鈴木 のどか	香気成分のヒト神経発達と行動に及ぼす影響
関口 美夏星	腸菌発生要因を抑制的に抑制するハーブエキスの精製および構造解析
太刀岡 楓子	酸化亜鉛ハリスタ中の粒子および粒界相の組成
高橋 可保	柔軟性セグメントを有する新しいABA型ポリマーの合成と機能性フィルムへの展開
高橋 圭亮	アキラルチタン錯体を用いたアルケン類の立体特異性重合の検討
手島 孝太	活性炭を固定化したアルギン酸カルシウム膜の調製と硝酸イオン除去性能の評価
中島 啓喜	アニオン性界面活性剤ドデシル硫酸ナトリウムとカチオン性物質の相互作用
根津 那知	廃水の濃度変化と気泡塔型曝気装置の処理能の関係
半田 佳幹	異なる塩分濃度下における海洋性 Anammox 細菌の脱アンモニウム能の比較
平野 瞭	イチゴの <i>Botrytis cinerea</i> 耐性に関する研究
藤田 陽太	界面活性剤ドデシルトリメチルアンモニウムブロミドとアニオン性有機塩のGibbs膜の研究
古谷 翔	レスベトロールを配糖化する微生物の探索
眞下 大夢	臭化マグネシウム触媒を用いた不斉アルドール反応によるメソ-ジアルデヒドの高立体選択的炭素鎖延長反応
松永 陽平	ハイドロキシアパタイト透明成形体の作製条件の検討
矢島 夏海	ドジョウ分泌粘液の回収と含有ムチン濃度推定法の検討
横野 佳佳	微生物配糖化反応の基質特異性~フェノール性水酸基~
吉田 開斗	アルギン酸の高分子ネットワークを精密制御した分子ふるい膜の調製と多糖類の透過特性
荒瀬 拓海	ロジウム錯体を用いた様々な有機亜鉛試薬によるメソ-酸無水物の非対称的求核アルシル置換反応
セリン	レトロウイルス感染治療法の開発



建築学科

あとは自分で

建築学科5年担任 堀 昭夫

卒業おめでとう。あとは自分でやってね（と言ったら怒られるかもしれませんが）。社会に出たら、自分で学んで下さい。対象範囲は、技術・社会・経済、とまあそんなところ。たまに法律・人間もあります。けれど理解の方法には、あまり違いはないと思って下さい。

①概念の理解を図る

①分析して考える（虫の目）

②統合して考える（鳥の目）

③変化させて考える（極限）

だいたいそんなところでしょう。このため、理工系でつちかった方法論はそこでも適用可能で、対象が変わるだけだと思って下さい。現代の貨幣経済も法律も、ヒトという生き物が理由があってやっている行為です。それらのシステムは何を目的にしているのか、どう達成しようと考えているのか、これらへも分析・統合・極限のアプローチが適用可能です。まず現状への興味・関心を深めて、次に考えを思い巡らせて下さい。自ら考えるプロセスがあなたを良き技術者・社会人へ導くことでしょう。そこに教科書があるとは思わないで下さい、誰かが教えてくれるとも思わないで下さい（教えてくれたら儲けものだと考えましょう）。強いて言えば、社会がそのまま教科書かもしれませんが、ミスプリがたくさんあるのでよく読んで下さいね。あとは自分で。Learn it Forever.

研究テーマ一覧

阿久津賢司	もみから灰を用いた高強度モルタルの強度特性に関する実験的研究
中山 拓海	結び場（設計）－街が人を結ぶ都市、結城－
相澤美沙希	小山市における空家の実態調査
鮎澤 宗彦	高齢者の社会活動に着目したコミュニティバス利用に関する研究
新井 加奈子	緑側による住宅の温熱環境についての研究
伊藤 秀斗	ひび割れ補修に用いるエマルジョン系接着剤の注入状況及び止水性の検討
石塚 涼太	バイオマス由来のフライアッシュを用いたモルタルの強度特性に関する実験的研究
井上 陸生	宇都宮城下町絵図と宇都宮城下町の環境資源の基礎的考察
宮脇 惇	3次元FEM解析によるRC造異形断面部材の内部応力の検証
入江 珠希	夏の外気温の影響を受けるRC屋根スラブの内部応力に関する研究
岩本 弦	防災施設の被害と安全性の検討
白井 千陽	歩き誘う街（設計）－古河の街歩きの提案－
大勝 圭輝	梅雨の木造住宅におけるパッシブな除湿に関する研究
落合 純菜	既存コンクリートブロック塀の安全性に関する考察
加藤明日香	居住者の春季および秋季の寒暖差への対応に関する研究
川島 直樹	温度荷重を生じさせる温度変化について－鉄骨部材の温度変化の予測－
川畑 祐貴	疑似動的解析と部材最適化
今 優爾	ヤマサ（設計）－煙突の煙が幸せのかけらを報せる－
汐待 駿栄	暖地（設計）－団地再生によるつながりから生まれる新たな空間－
鈴木 理紗	街とはたらく（設計）－鹿沼市での新しいはたらく拠点の提案－
田崎朱莉花	KOG-BASE（設計）－日光サイクリングの拠点－
田中 碧	下野市の高齢化に伴う地域愛着の変化に関する研究－買い物行動からの考察－
田仲 裕貴	
瀧下 健拓	
塚原 啄斗	脳性麻痺者の温熱環境に関する研究
山口 莉音	街に溶け込む高齢者施設（設計）－太田市金山町高齢者複合施設計画－
鳥羽 潤	小山市の空家活用モデル事業の促進に関する研究
徳永 楓	学び・教える桐生まちづくり（設計）－学び舎のまち桐生－
中澤 由貴	平面保持解析を用いたRC造増設壁の曲げ終局強度及び変形性能に関する研究
日野澤拓哉	賑わいによるまちの再生（設計）－小山市の空き家を対象として－
星野 如子	聴覚障がい者と健常者の空間認知の相違に関する研究
村雲 貴之	火山噴火による建築被害に関する研究－海外の火山と木造建築物－
渡辺 翔	日米の耐震基準の比較
ロンクンティア	
マリツ	



機械工学コース

新しいステージに進む君たちへ

機械工学コース主任 飯塚 俊明

専攻科生のみなさん、修了おめでとうございます。本科・専攻科の7年間はいかがでしたか？高専での生活の中で、幾多の試練を乗り越えてきた君たちは、たくましく成長したと思います。会社や大学院でも活躍し、成功をつかめることでしょう。その過程の中で、試練に立ち向かわなければならぬ時がくるかもしれません。新しい知識や能力を身につける必要があるでしょう。これまでの経験をベースに、目標・計画を立て、「今できる最高のパフォーマンスを発揮」する経験を、積み重ねていくことが大切です。

忙しくて余裕がなくなってしまうこともあるかもしれません。そんなときは焦らずゆっくり休むことです。日々の生活の中で、すこしだけの時間を、仕事や勉強以外にも使うことを忘れないでください。それがどんなことでも、未来の君への投資となるはずです。その経験が、次の一步を踏み出す君の背中を、そっと押ししてくれることでしょう。みなさんのご活躍を楽しみに待っています。

電気情報工学コース

修了生の皆さんへ

電気情報工学コース主任 田中 昭雄

専攻科修了おめでとうございます。皆さんは、電気情報工学コースの最後の修了生となります。2006年にスタートした専攻科電気情報工学コースは皆さんの修了と共に幕を閉じます。今後、私たち教員にとって記憶に残る専攻科生になると思います。

さて、4月からは社会人あるいは大学院生として新しい生活がスタートします。高専での学生生活を飛び出し新天地へ。視野も広がり楽しいことも色々あるでしょう。一方、困難な状況に遭遇することもあります。そのようなとき、失敗を怖がらずチャレンジ精神をもって物事に取り組んで下さい。専攻科を修了した皆さんは、創造力、柔軟性に優れた能力・感性を潜在的に身に付けていると思います。それを発揮できるチャンスかも知れません。それから、もう一つ、自分ひとりの力でできることには限界があります。これから先、仕事や研究を進める上でチームワーク力が重要になる場面が沢山あると思います。自分のことだけでなく、仲間・チームメンバーへの思いやりや感謝の気持ちを大切にして下さい。

最後に、健康に気を付けて、より一層のご活躍を期待しています。皆さんの5年後、10年後の姿が楽しみです。

研究テーマ一覧

阿部 圭典	超小型衛星搭載用低毒性推進剤の分解効率に関する研究
染谷 昂	60wt% 過酸化水素水を用いた二液式推進系の点火システムに関する研究
西尾 勘汰	60wt% 過酸化水素水を用いた超小型衛星搭載用推進機の固体触媒劣化に関する研究
野澤 良介	AE センサーを利用した機械材料のヤング率及び欠陥評価



研究テーマ一覧

遠藤 一輝	磁界共鳴型無線給電におけるシミュレーション評価と最適コイル設計
小川 翔悟	力覚情報のインターネット伝送について一複数の方覚装置による同一プラットフォームの操作特性一
亀和田 亮	TiO ₂ コーティング電極オゾンナイザによるオゾン収率特性の改善
小林紗也奈	マーカとした任意画像へのデジタルコンテンツ紐付けによるアクティブ・テキストの改良
佐山 大智	ヘルムホルツ型送信コイルを用いた磁界共鳴型無線給電における出力安定性の向上
中谷 洋貴	表面粗さを表現するための力覚特性の検討



電気制御工学コース

修了生に贈る言葉

電子制御工学コース主任 渡邊 達男

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。本科を含めて7年間長かったと思いますが、はれて修了の日を迎えました。

私は専攻科コース主任が1年間だけの担当でしたが、皆さんの学習や研究を時々見させていただき、とても素晴らしい成果を残されたと思います。

これから小山高専を離れて様々な道を歩いて行くと思います。小山高専の学生という立場から離れると、新たに学ばなければならないことが沢山出てきます。人生は常に学び続けることが必要です。その際、小山高専での学びのスタイルが役立つと思います。しかし新たな学び方を学ぶ必要が出てくるかと思えます。

人は常に成長し続けます。皆さんも、常に新しいものに向かい成長していきましょう。それには好奇心が大切です。周りの人たちとの関係も大切です。また如何に今、この時を楽しむかということも大切です。時には苦しみもあるでしょうが、今、ここでの人生を楽しんでいくことはとても大切です。過去も未来も、頭が記憶、想像したものを、現在考えているだけです。起こっていることは現在のみです。そして今を変えることにより未来が変わります。

どうぞ、学んだことを手掛かりに、さらに成長していきましょう。

物質工学コース

「勉強の進め方」

物質工学コース主任 田中 孝国

修了生の皆さん、専攻科修了おめでとうございます。本科を含めて7年間の道のりは、あっという間だったかも知れませんが、これから皆さんが羽ばたいていく未来への基礎になったと思います。

社会に出る人、大学院に進学する人、それぞれいますが、専攻科で学んだ知識がそのまま使える甘い世界はありません。専攻科で皆さんが学んだのは「勉強の進め方」です。

与えられた試練（定期試験）をクリアするための勉強は自発的ではありません。特別研究などで、各自の研究内容を深く知るために、学んだ調べた自発的に動いた手法が専攻科で真に学んだ「勉強の進め方」なのです。

皆さんが社会で成功するには、自分で試練を探し、乗り越えることが必要になります。そのときに専攻科で学んだ「勉強の進め方」を応用してみてください。きっと打開策が見出せます。勉強（努力）すれば成功するわけでは無いですが、成功した人は皆勉強（努力）しています。専攻科ではこの「勉強の進め方」を教職員全員で教えました。皆さん、今後の人生に是非これを活かしてみてください。最後になりましたが、修了する皆様の今後のご健康とご健闘を祈ります。

研究テーマ一覧

金子 祥治	搬送波抑圧振幅変調を用いたパラメトリックスピーカの一改善
川田 貴勇	太陽光発電における影の発生を考慮した発電量の予測
菊池 望	近距離無線ネットワークによるキャンパス電力見える化の検討
越村 太一	myRIOを用いたシステム同定に関する研究
田谷 圭吾	送信イコライザの自動調整に向けた伝送波形評価手法の開発
谷 篤郎	通信回路の最適化調整のための伝送波形歪み評価回路の開発
西 勇貴	カメラ画像を用いた不良品検査システムの検討



研究テーマ一覧

落合幸太郎	遷移金属触媒による meso- 環状酸無水物とアリル亜鉛試薬を用いるカップリング反応
菊地 美咲	熱サイクル条件で溶融硫酸塩薄膜下における金属材料の耐食性評価
鈴木 達也	配糖化酵素遺伝子のクローニングと大腸菌での発現



建築学コース

修了生諸君へ

建築学コース主任 本多 良政

専攻科生のみなさん、修了おめでとうございます。
AI技術の発展により様々な分野で仕事が自動化され、社会人には自分の頭で考え、自分の力で切り開ける能力、仲間を作る能力が必要となってきています。また、技術革新や社会情勢が目まぐるしく変化しており、変化に対応するために多様な考え方が求められています。みなさんは本科で5年間、専攻科で2年間の計7年間で専門知識を身につけ、問題提起や問題解決するための能力や仲間と協同作業する能力を学んできました。これからの社会で生き残れる素養が身についています。今後、社会の変化に柔軟に対応できるように、今ある能力を伸ばす努力をし、専門知識を軸に様々な分野の知見を広げることで、十分に活躍できることでしょうか。自分の専門分野に固執することなく、興味を持ったことに挑戦してほしいと思います。

それから、教師と学生の関係は学校の中でのことで、教えた、教わった、の関係はいつまでも変わらないでしょう。しかし、みなさんも教員もよりよい社会を目指す研究者であり、技術者です。身近な問題と一緒に取り組んでいく必要があります。学内には様々な分野を専門としている教員がいます。みなさんの活動の中で解決できないような事例があるときは気兼ねなく声をかけてください。きっと答えを見つけることができるでしょう。

皆さんの活躍を期待しています。

研究テーマ一覧

阿部 哲也	旧結城城下における伝統的町並みの都市・建築史的考察
須藤 綾華	もみから灰のコンクリート用混和材としての利用に関する研究
菅谷 諒	スマートコミュニティ事業の類型化と実態の把握 —スマートコミュニティを取り巻く組織と在り方の評価—
野中 政宗	全国における大学キャンパスの設置・撤退等の動向に関する研究
延島 康平	焼津市花沢に現存する伝統的建造物の振動性状に関する研究
山中 裕勝	焼津市花沢にある伝統木造家屋の耐震性能に関する研究



学生表彰者一覧

No.	学年	学科	学生氏名	主な活躍	表彰名	個人・団体の別
1	1年	機械	伊勢川 真生	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
2	1年	機械	釜井 駿太郎	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
3	1年	機械	篠原 大夢	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
4	1年	機械	清水 由彦	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
5	1年	機械	杉本 有佑	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
6	1年	機械	成田 紀樹	平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで一次トーナメント3位入賞。	奨励賞	個人
7	1年	機械	細井 峻太郎	平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで二次トーナメント2位入賞。	奨励賞	個人
8	1年	機械	劉 賢	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
9	1年	電気電子創造	亀井 温由樹	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
10	1年	電気電子創造	後藤 壮晴	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
11	1年	電気電子創造	竹澤 小径	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
12	1年	電気電子創造	坪山 拓樹	平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子個人ダブルスで3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで二次トーナメント2位入賞。	奨励賞	個人
13	1年	電気電子創造	間中 崇斗	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
14	1年	電気電子創造	本橋 優綺	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
15	1年	電気電子創造	矢川 大斗	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
16	1年	電気電子創造	山村 琉空	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
17	1年	物質	大塚 宏樹	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。	奨励賞	団体
18	1年	物質	大塚 宏樹	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子ダブルス3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子個人ダブルスで3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで一次トーナメント3位入賞。	奨励賞	個人
19	1年	物質	齋藤 祥	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
20	1年	物質	高木 日香留	全国高専大会剣道競技女子個人において優勝。	優秀賞	個人
21	1年	物質	宮田 翔太	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体

学生表彰者一覧

No.	学年	学科	学生氏名	主な活躍	表彰名	個人・団体の別
22	1年	物質	山 極 空 美	第 62 回日本学生科学賞栃木県展覧会 高校生の部 最優秀賞（県議会議長賞）受賞。	優秀賞	団体
23	1年	建築	中 山 昂 大	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
24	1年	建築	守 谷 恵 人	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
25	1年	建築	守 谷 恵 人	平成 30 年度第 58 回栃木県高等学校陸上競技新人大会「男子 4 × 400m リレー」第 6 位。	奨励賞	個人
26	2年	機械	香 取 結 衣	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において女子ダブルス 3 位入賞。	奨励賞	個人
27	2年	機械	菊 池 蓮	高専口ポコン 2 0 1 8 関東甲信越地区大会において A チームは特別賞（安川電機）、B チームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
28	2年	機械	小 池 邦 佳	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子 4 × 100m リレー」第 3 位。	奨励賞	個人
29	2年	機械	小 池 邦 佳	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
30	2年	機械	小 池 邦 佳	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子 4 × 100m リレー」第 3 位。 平成 30 年度第 58 回栃木県高等学校陸上競技新人大会「男子 200m」第 7 位。	奨励賞	個人
31	2年	機械	小 池 邦 佳	平成 30 年度第 58 回栃木県高等学校陸上競技新人大会「男子 4 × 400m リレー」第 6 位。	奨励賞	個人
32	2年	機械	佐 藤 聡 一 郎	平成 30 年度関東高等学校水泳競技大会 第 69 回関東高等学校選手権水泳競技大会 男子 400 m 個人メドレー（2 年連続出場） 平成 30 年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m リレー 1 位（大会新記録）、男子 400m メドレーリレー 1 位（大会新記録）、 男子 100m バタフライ 1 位、男子 200m 個人メドレー 1 位 第 53 回全国高等専門学校体育大会第 24 回 全国高等専門学校水泳競技大会 男子 4 × 100m メドレーリレー 1 位、男子 200m 個人メドレー 2 位	優秀賞	個人
33	2年	機械	鈴 木 結 以	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第 4 7 回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
34	2年	機械	中 嶋 匠	学生会執行部の広報局長として尽力。	奨励賞	個人
35	2年	機械	藤 本 一 毅	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
36	2年	機械	藤 本 一 毅	平成 30 年度第 58 回栃木県高等学校陸上競技新人大会「男子 4 × 400m リレー」第 6 位。	奨励賞	個人
37	2年	電気電子創造	岩 見 舜 平	学生会副会長として尽力。	奨励賞	個人
38	2年	電気電子創造	五 月 女 流 人	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第 4 7 回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
39	2年	電気電子創造	館 野 桜	高専口ポコン 2 0 1 8 関東甲信越地区大会において A チームは特別賞（安川電機）、B チームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
40	2年	電気電子創造	田 中 千 智	平成 30 年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位、女子 100m 自由形 3 位	奨励賞	個人
41	2年	電気電子創造	田宮アルトゥロ 海児	第 52 回工陵祭の実行委員会の広報として尽力。	奨励賞	個人
42	2年	電気電子創造	根 本 桂 甫	高専口ポコン 2 0 1 8 関東甲信越地区大会において A チームは特別賞（安川電機）、B チームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
43	2年	電気電子創造	松 田 夏 紀	学生会副会長として尽力。	奨励賞	個人
44	2年	物質	石 井 翔 大	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
45	2年	物質	早 乙 女 光 紀	第 52 回の工陵祭実行委員会の花火長として尽力。	奨励賞	個人
46	2年	物質	田 尻 美 月	第 33 回 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会のスピーチ部門にて 3 位入賞。	奨励賞	個人
47	2年	物質	田 尻 美 月	平成 30 年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位	奨励賞	個人
48	2年	物質	蓮 見 正 仁	平成 30 年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 200m バタフライ 3 位	奨励賞	個人
49	2年	物質	松 元 優 斗	第 62 回日本学生科学賞栃木県展覧会 高校生の部 最優秀賞（県議会議長賞）受賞。	優秀賞	団体
50	2年	物質	松 元 優 斗	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
51	2年	物質	松 元 優 斗	平成 30 年度第 58 回栃木県高等学校陸上競技新人大会「男子 4 × 400m リレー」第 6 位。	奨励賞	個人
52	2年	物質	三 上 久 理 守	第 52 回工陵祭の実行委員会の駐車場長として尽力。	奨励賞	個人
53	2年	物質	山ノ井 幹 大	H30 年度地区文化発表会の小山高専実行委員長として尽力。	功績賞	個人
54	2年	物質	渡 邊 江 利 子	関東信越地区高専体育大会柔道競技（女子）で 3 位入賞。	奨励賞	個人
55	2年	物質	渡 邊 江 利 子	第 55 回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「女子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
56	2年	建築	赤 羽 真 菜	全国高等学校ビブリオバトル 2018 栃木県大会（栃木県教育委員会主催、活字文化推進会議、栃木県高等学校教育研究会図書館部会共催）において、決勝まで進出し入賞を獲得した。	奨励賞	個人
57	2年	建築	荒 川 龍 弥	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第 4 7 回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
58	2年	建築	生 田 岳 士	「第 61 回全国空手道選手権大会予選兼第 45 回栃木県大会」の「形の部」、「組手の部」の両部門において準優勝。 全国空手道選手権大会 出場。	優秀賞	個人
59	2年	建築	大 出 理 紗	第 55 回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「女子総合」第 3 位。	奨励賞	団体
60	2年	建築	片 岡 里 緒	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第 3 位	優秀賞	団体
61	2年	建築	久 納 翔 太	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第 4 7 回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
62	2年	建築	櫻 田 涼 香	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において女子ダブルス 3 位入賞。	奨励賞	個人
63	2年	建築	白 石 千 遥	第 52 回工陵祭の実行委員会の広報長として、工陵祭のポスター・パンフレットの作成等に尽力。	奨励賞	個人
64	3年	機械	大 島 寿 規	平成 3 0 年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第 4 7 回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
65	3年	機械	岡 崎 里 音	関東信越地区高専体育大会柔道競技（女子）で優勝。	優秀賞	個人
66	3年	機械	岡 崎 里 音	第 55 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「女子砲丸投」において優勝。	優秀賞	個人
67	3年	機械	岡 崎 里 音	第 55 回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「女子総合」第 3 位。	奨励賞	団体

No.	学年	学科	学生氏名	主な活躍	表彰名	個人・団体の別
68	3年	機械	小曾根 蒼	H30年度の学生会会長として、リーダーシップを発揮し、学生会の組織運営に尽力。	功績賞	個人
69	3年	機械	篠崎 直紀	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
70	3年	機械	篠崎 直紀	平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで一次トーナメント1位優勝。	奨励賞	個人
71	3年	機械	長 龍 佑	「平成30年度第38回全国高校生読書体験記コンクール」（一橋文芸教育振興会主催）において、「一橋文芸教育振興会賞」を受賞。	優秀賞	個人
72	3年	機械	中池 勇貴	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
73	3年	機械	初谷 直春	平成30年度関東高等学校水泳競技大会 第69回関東高等学校選手権水泳競技大会 男子50m自由形（3年連続出場） 平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子4×100mリレー1位（大会新記録）、男子50m自由形1位（大会新記録） 第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会（3年連続出場） 男子4×100mメドレーリレー1位	優秀賞	個人
74	3年	機械	森島 大智	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
75	3年	機械	森島 大智	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子ダブルス3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで一次トーナメント1位優勝。	奨励賞	個人
76	3年	機械	湯澤 武	学生会執行部クラス代表委員会の委員長として尽力。	奨励賞	個人
77	3年	機械	渡邊 広大	関東信越地区高専体育大会柔道競技（男子）で3位入賞。	奨励賞	個人
78	3年	電気電子創造	荒川 龍磨	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
79	3年	電気電子創造	栗野 豪隆	第52回工隆祭の実行委員会の会計長として尽力。	奨励賞	個人
80	3年	電気電子創造	鯉沼 涼夏	学生会執行部の庶務局長として尽力。	奨励賞	個人
81	3年	電気電子創造	柴田 真澄	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
82	3年	電気電子創造	正田 晃己	実用数学技能検定1級に合格。	奨励賞	個人
83	3年	電気電子創造	高岩 尚輝	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
84	3年	電気電子創造	高橋 魁晟	第52回工隆祭の実行委員会のチャリティー長として尽力。	奨励賞	個人
85	3年	電気電子創造	藤崎 梨奈	学生会執行部の技術局長として尽力。	奨励賞	個人
86	3年	電気電子創造	古田 大河	青嵐寮（小山高専学生寮）の平成30年度後期寮長として、その任務を全うした。	功績賞	個人
87	3年	電気電子創造	山本 駿介	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子400mメドレーリレー1位（大会新記録） 第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会 男子4×100mメドレーリレー出場	優秀賞	個人
88	3年	物質	秋元 純樹	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
89	3年	物質	石川 大空	第52回工隆祭の実行委員会の環境長として尽力。	奨励賞	個人
90	3年	物質	石川 大空	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
91	3年	物質	小林 稜	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
92	3年	物質	四家 豊加	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子4×100mリレー1位（大会新記録）、男子400mメドレーリレー1位（大会新記録）、 男子400m自由形1位、男子800m自由形1位 第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会 男子4×100mメドレーリレー1位、男子400m自由形1位、男子800m自由形2位	優秀賞	個人
93	3年	物質	出野 海優	第52回工隆祭の実行委員会の庶務長として尽力。	奨励賞	個人
94	3年	物質	寺内 大智	第62回日本学生科学賞栃木県展覧会 高校生の部 最優秀賞（県議会議長賞）受賞。	優秀賞	団体
95	3年	物質	畑中 杏樹	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子200mメドレーリレー 3位	奨励賞	個人
96	3年	建築	上野 碧衣	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。	奨励賞	団体
97	3年	建築	大根田 光輝	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
98	3年	建築	大野 鉄平	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。	奨励賞	団体
99	3年	建築	織田 大輝	青嵐寮（小山高専学生寮）の平成30年度前期寮長として、その任務を全うした。	功績賞	個人
100	3年	建築	亀田 拓磨	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
101	3年	建築	小森谷 実優	第15回全国高等専門学校デザインコンペティション デザコン2018in北海道 空間部門において優秀賞受賞。	優秀賞	団体
102	3年	建築	佐々木 遼太	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
103	3年	建築	平 美月	関東信越地区高専バドミントン大会 女子個人ダブルス 準優勝 全国高等専門学校体育大会 女子個人ダブルス 第3位	優秀賞	個人
104	3年	建築	野沢 美友	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。	奨励賞	団体
105	3年	建築	茂呂 陽真人	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
106	3年	建築	山尾 終人	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
107	3年	建築	渡邊 寿々佳	第52回工隆祭の実行委員会の設備長・物品長として尽力。	奨励賞	個人
108	4年	機械	五十嵐 大夢	H30年度の校内球技大会委員会委員長として実行委員をまとめ、 前期・後期の球技大会の準備および当日運営に貢献。	功績賞	個人
109	4年	機械	クライン マキシ ミリアン 拓哉	全国高専体育大会陸上競技大会に「男子4×100mリレー」で通算3回出場。 第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	優秀賞	個人

No.	学年	学科	学生氏名	主な活躍	表彰名	個人・団体の別
110	4年	機械	クライン マキシ ミリアン 拓哉	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	奨励賞	個人
111	4年	機械	クライン マキシ ミリアン 拓哉	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
112	4年	機械	関 口 翔 斗	第52回工務祭の実行委員会の副委員長として尽力。	奨励賞	個人
113	4年	機械	高 橋 航 希	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子4×100mリレー1位(大会新記録)、男子400mメドレーリレー1位(大会新記録)、 男子100m平泳ぎ1位(大会新記録)、男子200m平泳ぎ1位(大会新記録) 第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会 男子4×100mメドレーリレー1位、男子100m平泳ぎ1位(大会新記録)、男子200m平泳ぎ1位	優秀賞	個人
114	4年	機械	田 中 瑞 樹	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会 「男子砲丸投」優勝、「男子円盤投」第2位。 第53回全国高等専門学校体育大会陸上競技大会 「男子円盤投」第8位入賞。	優秀賞	個人
115	4年	機械	田 中 瑞 樹	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
116	4年	機械	寺 内 颯 秀	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
117	4年	機械	長 尾 健 史	全国高専体育大会陸上競技大会に「男子4×100mリレー」で通算3回出場。 第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	優秀賞	個人
118	4年	機械	長 尾 健 史	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	奨励賞	個人
119	4年	機械	長 尾 健 史	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
120	4年	機械	仲 村 夏 生	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
121	4年	機械	松 本 雄 大	H30年度の体育委員会の副会長として組織運営に尽力。	奨励賞	個人
122	4年	機械	横 須 賀 光	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
123	4年	電気電子創造	栗 野 元 基	第52回工務祭実行委員会委員長として実行委員をまとめ、第52回工務祭の準備および当日運営に貢献。	功績賞	個人
124	4年	電気電子創造	ウ メ イ ニ ル マ イ ケ	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
125	4年	電気電子創造	大 木 悠 生	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
126	4年	電気電子創造	神 原 桃 子	青嵐寮(小山高専学生寮)平成30年度前期女子寮長として、その任務を全うした。 後期からは指導寮生として、指導的な立場として力を発揮した。	奨励賞	個人
127	4年	電気電子創造	神 原 桃 子	関東信越地区高専バドミントン大会 女子個人ダブルス 準優勝 全国高等専門学校体育大会 女子個人ダブルス 第3位	優秀賞	個人
128	4年	電気電子創造	栗 原 諒	全国高専体育大会陸上競技大会に「男子三段跳」で通算4回出場。 第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子三段跳」第2位。	優秀賞	個人
129	4年	電気電子創造	栗 原 諒	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
130	4年	電気電子創造	鈴 木 楓	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
131	4年	電気電子創造	鈴 木 悠 太	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
132	4年	電気電子創造	瀧 上 幸 平	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
133	4年	電気電子創造	塚 越 統 哉	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
134	4年	電気電子創造	寺 島 尚 紀	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
135	4年	電気電子創造	原 田 遊	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
136	4年	電気電子創造	峰 澤 佳 祐	学生会選挙管理委員会の委員長として尽力。	奨励賞	個人
137	4年	電気電子創造	山 本 輝 弥	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
138	4年	物質	秋 山 直 輝	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
139	4年	物質	秋 山 直 輝	関東信越地区高専バドミントン大会 男子個人シングルス 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子個人シングルス 第3位	優秀賞	個人
140	4年	物質	塩 原 夢 乃	第55回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「女子総合」第3位。	奨励賞	団体
141	4年	物質	柴 田 真 輝	関東信越地区高専バドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
142	4年	物質	田 中 惇	第52回工務祭の実行委員会の副委員長として尽力。	奨励賞	個人
143	4年	物質	田 中 陽 大	水泳部の部長として積極的に部活動に関わり部員の泳力強化やチームワーク作りに尽力。 平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技において団体総合3位、 第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会において、団体総合3位の成績達成に多大な貢献。	功績賞	個人
144	4年	物質	田 中 陽 大	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
145	4年	物質	生 井 嶺 也	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
146	4年	建築	江 島 ありさ	第52回工務祭の実行委員会の企画長として尽力。	奨励賞	個人
147	4年	建築	柏 崎 陵	H30年度の体育委員会の会計として組織運営に尽力。	奨励賞	個人
148	4年	建築	小 島 敬 也	第15回全国高等専門学校デザインコンペティション デザコン2018in北海道 空間部門において優秀賞受賞。	優秀賞	団体
149	4年	建築	鈴 木 佐 暉 子	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
150	4年	建築	土 屋 茉 奈	第55回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「女子総合」第3位。	奨励賞	団体
151	4年	建築	遠 山 尚 子	青嵐寮(小山高専学生寮)平成30年度後期女子寮長として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
152	4年	建築	戸 張 千 聖	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼 第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
153	5年	機械	荒 川 直 輝	第15回学生&企業研究発表会において、(株)中村製作所から「ナカムラ・キラリ賞」受賞	奨励賞	団体
154	5年	機械	大 森 良 和	第15回学生&企業研究発表会において、(株)中村製作所から「ナカムラ・キラリ賞」受賞	奨励賞	団体

No.	学年	学科	学生氏名	主な活躍	表彰名	個人・団体の別
155	5年	機械	折原慶喜	第24回高専シンポジウム in Oyamaにおいて、ポスター発表賞を受賞した。	奨励賞	個人
156	5年	機械	柏崎志武	全国高専大会剣道競技男子個人に、3年連続出場。 部長を務めながら、部員を牽引し2017年には全国高専大会第3位入賞。	優秀賞	個人
157	5年	機械	高谷哲平	学生会執行部の会計局長として尽力。	奨励賞	個人
158	5年	機械	高谷哲平	第15回学生&企業研究発表会において、(株)中村製作所から「ナカムラ・キラリ賞」受賞	奨励賞	団体
159	5年	機械	田崎陽登	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
160	5年	電気電子創造	青柳旭彦	「第3回廃炉創造ロボコン」において、「特別賞(日立GEニュークリアエナジー賞)」を受賞。	優秀賞	団体
161	5年	電気電子創造	荒川永夢	「第3回廃炉創造ロボコン」において、「特別賞(日立GEニュークリアエナジー賞)」を受賞。	優秀賞	団体
162	5年	電気電子創造	伊澤優太	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
163	5年	電気電子創造	大浦友暉	「第3回廃炉創造ロボコン」において、「特別賞(日立GEニュークリアエナジー賞)」を受賞。	優秀賞	団体
164	5年	電気電子創造	大橋秀嘉	「第3回廃炉創造ロボコン」において、「特別賞(日立GEニュークリアエナジー賞)」を受賞。	優秀賞	団体
165	5年	電気電子創造	高橋怜央	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
166	5年	電気電子創造	田村峻	「電子情報通信学会2018年ソサイエティ大会」において、「ネットワークソフトウェア優秀ポスター賞」を受賞。	優秀賞	個人
167	5年	電気電子創造	並木涼	「電子情報通信学会2018年ソサイエティ大会」において、ポスター発表。 「電子情報通信学会ネットワークソフトウェア研究会」、「情報処理学会第81回全国大会」で発表。	奨励賞	個人
168	5年	電気電子創造	福林明日香	高専ロボコン2018関東甲信越地区大会においてAチームは特別賞(安川電機)、Bチームはデザイン賞を受賞。	優秀賞	団体
169	5年	電気電子創造	福林明日香	ロボコンプロジェクト活動に積極的に参加し優秀な成績を取った。ロボットを用いた実演活動を通じ全国的な高専ロボコンのPR活動および地域における教育・文化の支援活動において尽力した。	功績賞	個人
170	5年	電気電子創造	松野将馬	「第3回廃炉創造ロボコン」において、「特別賞(日立GEニュークリアエナジー賞)」を受賞。	優秀賞	団体
171	5年	電気電子創造	松野将馬	ロボコンプロジェクト活動に積極的に参加し優秀な成績を取った。ロボットを用いた実演活動を通じ全国的な高専ロボコンのPR活動および地域における教育・文化の支援活動において尽力した。	功績賞	個人
172	5年	物質	新井小百合	第53回全国高等専門学校体育大会第24回全国高等専門学校水泳競技大会 女子100m平泳ぎ(5年連続出場) 平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子200mメドレーリレー3位、女子100m平泳ぎ2位 全国大会出場	優秀賞	個人
173	5年	物質	岡悟史	第52回工陵祭の実行委員会の渉外局スポンサー長として尽力。	奨励賞	個人
174	5年	物質	金原風雅	第52回工陵祭の実行委員会の全体補佐として尽力。	奨励賞	個人
175	5年	物質	財津奏太	第4回北関東信越地区化学技術フォーラムにおいて優秀ポスター賞受賞。	奨励賞	個人
176	5年	物質	財津奏太	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
177	5年	物質	財津奏太	平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで二次トーナメント1位優勝。	奨励賞	個人
178	5年	物質	須永祥斗	第4回北関東信越地区化学技術フォーラムにおいて優秀ポスター賞受賞。	奨励賞	個人
179	5年	物質	須永祥斗	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技において男子団体3位入賞。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス春期大会において男子団体1位優勝。 平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子団体1位優勝。	奨励賞	団体
180	5年	物質	須永祥斗	平成30年度関東高専交流ソフトテニス秋期大会において男子個人ダブルスで二次トーナメント1位優勝。	奨励賞	個人
181	5年	物質	高橋可保	第24回高専シンポジウム in Oyamaにおいて、ポスター発表賞を受賞した。	奨励賞	個人
182	5年	物質	半田佳幹	第52回工陵祭の実行委員会の全体補佐として尽力。	奨励賞	個人
183	5年	物質	藤田陽太	全国高専体育大会陸上競技大会に「男子三段跳」で通算4回出場。 第55回関東信越地区高専体育大会 陸上競技大会「男子三段跳」第3位、「男子走幅跳」第2位。	優秀賞	個人
184	5年	物質	藤田陽太	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
185	5年	物質	矢島夏海	国際会議(3rd STI-Gigaku 2018)において優秀ポスター賞受賞。 第15回「学生&企業研究発表会」においてポスター最優秀賞受賞。	奨励賞	個人
186	5年	物質	矢島夏海	国際シンポジウム STI-GIGAKUにおいて、優秀ポスター賞を受賞。 第15回学生&企業研究発表会にて、ポスター優秀賞を受賞。	優秀賞	個人
187	5年	物質	吉田開斗	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
188	5年	建築	鮎澤宗壺	関東信越地区高専パドミントン大会 男子団体 優勝 全国高等専門学校体育大会 男子団体 第3位	優秀賞	団体
189	5年	建築	伊藤秀斗	平成30年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第47回関東高等専門学校サッカー選手権大会 優勝	優秀賞	団体
190	5年	建築	大勝圭輝	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
191	5年	建築	川畑祐貴	全国高専体育大会陸上競技大会に「男子4×100mリレー」で通算3回出場。 第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	優秀賞	個人
192	5年	建築	川畑祐貴	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子4×100mリレー」第3位。	奨励賞	個人
193	5年	建築	川畑祐貴	第55回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合」第3位。	奨励賞	団体
194	5年	建築	鈴木梨紗	第15回全国高等専門学校デザインコンペティション デザコン2018in北海道 空間部門において優秀賞受賞。	優秀賞	団体
195	5年	建築	ロンクンティアマリツ	栃木市国際交流協会主催の「第14回日本語スピーチコンテスト」において、優勝賞受賞。	奨励賞	個人
196	S1年	電気電子創造工学コース	山口拓海	第15回学生&企業研究発表会において、AIS総合設計(株)から「AIS総合設計賞」受賞	奨励賞	個人
197	S1年	物質工学コース	藤崎智行	「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」に採択され、 スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH Zurich)への1年間の長期留学を達成。 第23回化学プロセス工学国際会議において、英語でのOral Presentationを成功させた。	優秀賞	個人
198	S2年	建築学コース	菅谷諒	ISTS2018に参加し、プログラム中のワークショップで 「H.R.H PRINCESS MAHA CHAKRI SIRINDHORN's Cup」受賞(最高の賞)。	奨励賞	個人
199	S2年	建築学コース	須藤綾華	第15回「学生&企業研究発表会」において金賞受賞。	奨励賞	個人

平成30年度(平成31年3月卒業・修了生)の主な就職先

平成31年2月末現在

本 科			
機械工学科	電気電子創造工学科	物質工学科	建築学科
株式会社 JAL エンジニアリング	JXTGエネルギー株式会社	三井金属鉱業株式会社	清水建設株式会社
東日本旅客鉄道株式会社	株式会社USEN-NEXT HOLDINGS	アルメックスP E株式会社	JR 東日本ビルテック株式会社
株式会社 M テック	株式会社オフィスエフエイ・コム	エヌエス環境株式会社	NTT データ先端技術株式会社
株式会社ジェイアール東日本メカトロサービス	株式会社ジェイアール東日本メカトロサービス	株式会社ホンダ産業	アイング株式会社
株式会社日産オートモーティブ	株式会社チノー	株式会社環境管理センター	株式会社イトーキ
株式会社ロッテ	株式会社日本理化テクノロジー	サントリースピリッツ株式会社	株式会社ザイマックスアルファ
株式会社日立産機システム	株式会社日立ビルシステム	サントリーブロダクツ株式会社	株式会社横河システム建築
川崎重工業株式会社	株式会社富士通エフサス	ダイキン工業株式会社	株式会社織本構造設計
コマツ (株式会社小松製作所)	株式会社メンバーズ	旭化成株式会社	株式会社足利銀行
ファンック株式会社	株式会社東光高岳	株式会社フジコー	株式会社渡辺有規建築企画事務所
ヤンマーアグリジャパン株式会社関東甲信越カンパニー	株式会社日立ハイテックフィールドینگ	小川香料株式会社	東京電力ホールディングス株式会社
曙ブレーキ工業株式会社	クラクソ・スミスクライン株式会社	第一三共ケミカルファーマ株式会社	戸田建設株式会社
森トラストビルマネジメント株式会社	東京電力ホールディングス株式会社	中外製薬工業株式会社	森トラスト・ビルマネジメント株式会社
東京ガス株式会社	東芝コンピュータテクノロジー株式会社	東京都下水道サービス株式会社	江田特殊防水工業株式会社
日立化成株式会社	東武冶金株式会社	日水製薬株式会社	大和リース株式会社
本田技研工業株式会社	ハートランド・データ株式会社	日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社	渡辺建設株式会社
	ビーブラウンエスクラブ株式会社	日立化成テクノサービス株式会社	
	東日本旅客鉄道株式会社	龍田化学株式会社	
	フォスター電機株式会社		
	マニー株式会社		
	新明和工業株式会社		
	東武インターテック株式会社		
	日信ソフトエンジニアリング株式会社		
	日本フィールドエンジニアリング株式会社		
	日立建機日本株式会社		
	富士通テレコムネットワークス株式会社		
	本田技研工業株式会社		

専 攻 科				
機械工学コース	電気情報工学コース	電子制御工学コース	物質工学コース	建築学コース
株式会社クイヒン	花王株式会社	日東紡績株式会社	田中貴金属工業株式会社	株式会社一条工務店群馬
セイコーエプソン株式会社	AGCオートモーティブウィンドウシステムズ株式会社	株式会社トラストネクストソリューションズ		外務省
	日本電産エリシス株式会社	芝浦メカトロニクス株式会社		株式会社大建設計
		セイコーエプソン株式会社		トヨタウッドユーホーム株式会社
		パソニックシステムソリューションズジャパン株式会社		株式会社第一ビルディング
		日本無機株式会社		

平成30年度(平成31年3月卒業・修了生)の主な進学先

平成31年2月末現在

本 科			
機械工学科	電気電子創造工学科	物質工学科	建築学科
小山高専専攻科(4)	小山高専専攻科(9)	小山高専専攻科(4)	小山高専専攻科(4)
群馬大学	群馬大学	宇都宮大学	宇都宮大学(2)
千葉工大	東北工業大学	岡山大学	千葉工業大学
千葉大学	豊橋技術科学大学(4)	群馬大学	千葉大学(2)
東京海洋大学(2)	山形大学(2)	千葉大学	豊橋技術科学大学(4)
東北大学	茨城大学	長岡技術科学大学(7)	日本大学
徳島大学	宇都宮大学	東京農工大学(2)	
豊橋技術科学大学	金沢大学	豊橋技術科学大学(3)	
福島大学	千葉工業大学(3)	北海道大学	
山梨大学	長岡技術科学大学(3)		
長岡技術科学大学(3)	電気通信大学		
	東京農工大学(4)		
	北海道大学		

専 攻 科				
機械工学コース	電気情報工学コース	電子制御工学コース	物質工学コース	建築学コース
筑波大学大学院	筑波大学大学院	群馬大学大学院	東京医科歯科大学	筑波大学大学院
宇都宮大学大学院	奈良先端技術大学院大学		東北大学大学院	

※ () は人数

後援会だより

後援会会則の変更点について

小山高専後援会 広報部会 関塚 竜男

今回は、本年度の小山高専後援会理事会で決議された後援会の会則および細則の変更についてお知らせします。

1. 支部区域割の変更

各支部会員数の偏りを是正するため、2019年度の新入会員より所属支部が以下のように変わります。

(注：既に入会されている方は変わりません。)

下野市・上三川町 宇都宮支部 → 小山支部
 壬生町 宇都宮支部 → 晃麓支部

2. 会計年度の変更

年度会計決算から総会までの間、会報の編集と印刷に必要な期間を確保するため、決算時期を3月末から2月末に変更し、会計年度を3月1日から2月末日としました。

3. 支部総会の一部合同開催

ご臨席いただく先生方の負担を低減するため、以下の次回支部総会を合同で開催します。

- ・小山支部・県南支部
- ・筑西支部・茨城西支部

※各支部の総会開催日程や場所などの詳細については、案内状にてご確認ください。

以上、ご理解とご協力をお願い致します。

支部の区域 (2019年度新会員より)



※ 現会員は変更無し

部活動報告

写真部活動紹介

写真部部长 機械工学科5年 荒川 直輝

私たち写真部は、写真技術の向上や写真に関わる知識の習得を目標に日々活動しています。

写真部では、写真の原点を学ぶ目的で、現在では希少となっているフィルム写真の撮影やモノクロフィルム写真の現像、焼き付け作業を自分達の手で行っています。他では経験することのできない貴重な機会となっており、現像で写真が浮かび上がる瞬間には多くの部員がデジタル写真とは一味違った写真に感動しています。

写真撮影技術の向上のために多くの部員が参加する撮影旅行も実施しています。本年度は撮影旅行で那須、黒羽、鎌倉、富士山、新潟での撮影の他、駒ヶ岳での登山撮影も行ってきました。特に那須でのつつじ撮影と新潟での紅葉の撮影旅行のときには多くの部員が参加し、バスを貸し切ったの撮影旅行となりました。普段の個人での撮影とは違った活動を通し、部員同士の親睦も深まりました。

工陵祭では、普段から仲の良い部員同士チームワークを発揮し、モザイクアートや写真館モデルの制作などに取り組むことが出来ました。工陵祭当日には、訪れてくださった多くの方から「感動した」などの賞賛の声を頂くことが出来ました。来年度以降は工陵祭以外にも地域の方などと接するイベントに積極的に参加していきたいです。

これからも写真技術の向上や写真知識習得に向け、部員一同、精一杯活動していきます。



全国高等専門学校デザインコンペティション

平成 30 年 11 月 10 日～ 11 日、釧路市観光国際交流センターで開催され、小山高専作品「ヤマサ ー煙突の煙が幸せのかけらを報せるー」が、空間デザイン部門において全 151 チーム中、総合第 2 位で優秀賞に輝きました！

デザコンに参加して

建築学科 4 年 小森谷 実優

昨年 11 月、デザコンメンバーとして空間部門で優秀賞をいただきました。このような貴重な機会に携わらせていただき、非常に嬉しく思います。また、このような機会を与えてくださった、鈴木先輩を初めとする多くの方々にこの場を借り、感謝申し上げます。

今回のデザコンは私にとって初めてのコンペでした。準備期間は課題との両立が大変でしたが、それ以上に楽

しく、多くのことを学び、充実していました。本選では、プレゼンテーション、質疑応答など二日間にわたる審査を終え、全国の高専から選ばれた「守破離」をテーマにした約 10 作品の中から、優秀賞に選んでいただき、達成感と力を貸してくれた方々に良い報告ができることにほっとしました。また、沢山の作品に触れたことが自身への良い刺激となりました。

現在私は、新たにクラスメートと共にコンペに応募しています。デザコンに参加し、得たものを今後様々な場面で発揮できるよう、邁進してまいります。



第33回 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

平成 30 年 11 月 17 日、本校視聴覚室で行われ、物質工学科 2 年田尻 美月さんの発表、「Giving Yourself Freedom: Internal and External Motivation」が、スピーチ部門第 3 位に入賞しました！

英語弁論大会に参加して

物質工学科 2 年 田尻 美月

私は「Giving yourself freedom - Internal and external force」という題名でスピーチ部門に出場しました。困難を乗り越えることの大切さ、人から何かをやらされるのではなく、自分から課題を見つけてそれをこなすことの喜びを、自分の体験を踏まえて発表しました。人前で話すことが苦手であったため、練習の

始めの段階では、英語が話せても発表するとなるとどうつむいてしまい、声が小さくなってしまいました。しかし、先生がジェスチャーや立ち振る舞いの仕方を教えてくださったおかげで、本番では堂々とした態度で発表することができました。

この大会への参加を通して、英語力が向上しただけでなく、苦手だったことが克服できたので嬉しかったです。とても良い体験ができました。



学生会ニュース

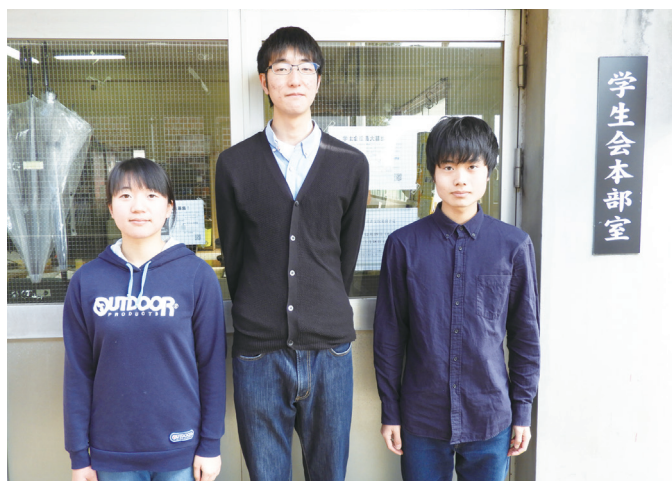
機械工学科2年 中嶋 匠

こんにちは。小山高専学生会執行部です。寒く長かった冬も終わり、日に日に暖かくなって参りましたね。卒業式、入学式と慌ただしいこの季節は年越し以来の一年の節目なのではないかと思えます。私たち学生会も一つの節目を迎え、新たな会長、副会長を基盤として活動していきます。

新年度にご入学なさる1年生にも学生会執行部に興味を持ってくれたらと密かに願っています。

私たちは部活動巡回や物品調査といった通常業務の他、入学式や球技大会、オープンキャンパス、工陵祭など学内の行事でも幅広く活動しています。新年度も前年度と同じように活動の様子は学校で掲載している学生会新聞と、この工陵でも紹介していきます。ちなみに学生会新聞、工陵につきまちは広報局が担当しております。楽しく気軽に読んで頂ける様、尽力致しますので是非お手にとって頂けたらと思います。

我々学生会執行部は新年度も日々精進して参りますので、これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



学寮ニュース

平成30年度後期寮長
電気電子創造工学科3年 古田 大河

青嵐寮では12月、クリスマス会が行われました。昼は3～5人のグループに分かれケーキを作りました。班は学年混合でランダムに振り分けられるのですが、どの班も楽しそうに限られた材料を使ってどんなケーキを作ろうか協力し、試行錯誤していました。できあがったケーキは班ごとにテーマやこだわりを発表し合い、夜にはそのケーキを食べながら寮生や先生方で出し合った物を景品にビンゴ大会を行い、大盛り上がりでした。

1月には、成人祝賀会が行われました。成人した5年生を中心に餅を4臼分つきました。杵が重く、ひとつきするのに手こずる人やここぞとばかりに高速でつきアピールする人など餅をつくにもふざけあたり協力し合ったりして親睦を深めました。つきたての餅は、ひと口サイズに丸めてきな粉やみたらし、あんこや海苔等で自由に味付けをして皆でお腹がパンパンになるまで食べました。



平成30年度

第38回全国高校生読書体験記コンクール



全国高校生読書体験コンクールにおいて、機械工学科3年の長龍佑君が「一ツ橋文芸教育振興会賞」を受賞しました。本年度は全国47都道府県から438校が参加し、応募作品総数は96,805編に上りました。長君はその中の優れた8編に選ばれて、1月27日に東京ドームホテルに招待され翌28日に表彰式に出席して、賞状と楯、記念品を受領しました。体験記の題名は「心を通わせる」で、体験書籍はテリー・ケイ著・兼武進訳『白い犬とワルツ』（新潮文庫）です。

また、この受賞に伴って、本校も「学校賞」として楯および集英社文庫100冊セットを受贈しました。

なお、産経新聞（1月29日付朝刊）と下野新聞（2月7日付朝刊）に同コンクールの表彰についての記事があり、長君の受賞コメントも掲載されています



平成31年度 諸経費について

金額については法令等の改正により変更になることもありますので、各係からのお知らせ等により再度ご確認ください。

項目	金額	期日	該当者	担当係	
授業料	前期 117,300円	4月26日(引き落とし)※	本科・専攻科生	総務課財務係 (0285) 20-2131	
	後期 117,300円	10月28日(引き落とし)	本科・専攻科生		
学生会費	年額 6,000円	4月26日(郵便振替)	学生	学生課学生係 (0285) 20-2147	
	入会金 1,000円	4月26日(郵便振替)	入会時のみ		
後援会費	年額 25,200円	4月27日(引き落とし)	学生1名につき	後援会事務局 (0285) 20-2145	
	年額 16,800円	4月27日(引き落とし)	前年度に置いて授業料の免除を受けた者、もしくは就学支援金加算支給を受けた者は除く。		
	入会金 15,000円	4月27日(引き落とし)	入会時のみ(但し、兄弟入学2人目以降、および本科から継続して専攻科へ入学した場合は徴収しない)		
学寮	入寮費 3,000円	4月19日(引き落とし)	入寮時のみ 寮生1名につき	学生課寮務係 (0285) 20-2149	
	寮費	前期 30,000円	4月19日(引き落とし)		
		後期 30,000円	10月18日(引き落とし)		
	寮生会費	年額 7,000円	4月19日(引き落とし)		
	冷暖房費	前期 16,000円	4月19日(引き落とし)		
		後期 16,000円	10月18日(引き落とし)		
食費	月額約 38,700円	翌月20日(引き落とし)	1日3食 1,290円		
寄宿料	前期 4,200円(個室4,800円)	4月26日(引き落とし)	総務課財務係 (0285) 20-2131		
	後期 4,200円(個室4,800円)	10月26日(引き落とし)			
	※月額700円(個室800円)				

編集後記

とうとう平成最後の卒業生・修了生が学窓を巣立っていきました。高専生のみなさんは社会から特に期待されている人材です。新天地でも自分が小山高専出身であることに誇りと自覚を持って頑張ってほしいと思います。

最後になりますが、日頃より本誌をご愛読いただいている方々、そして、本誌の発行に多大なるご協力をいただいた関係者の皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。今後とも小山高専をよろしくお願いたします。

学生係

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100

編集：小山高専広報戦略室 発行：2019. 3